令和元年9月理事会議事録

- 1 開催日時 令和元年9月30日（月） 15時00分 ～ 15時33分
- 2 場 所 社会保険診療報酬支払基金本部
- 3 出席者
理 事 長	神 田 裕 二
専 務 理 事	三 好 昌 武
公 益 代 表 理 事	清 谷 哲 朗
同	築 瀬 博 章
保 険 者 代 表 理 事	高 橋 直 人
同	鳥 海 孝 治
同	長 尾 健 男
同	鈴 木 茂 明
被 保 険 者 代 表 理 事	木 村 敬 一
同	吉 田 直 浩
同	伊 藤 彰 久
診 療 担 当 者 代 表 理 事	中 川 俊 男
同	松 本 純 一
保 険 者 代 表 監 事	内 田 好 宣
被 保 険 者 代 表 監 事	田 中 伸 一
診 療 担 当 者 代 表 監 事	篠 原 彰
常 任 顧 問	助 川 正 博
参 与	安 部 好 弘
- 4 議 題
- 1 報告事項
第21次審査情報提供（医科）
 - 2 定例報告
 - (1) 令和元年7月審査分の審査状況
 - (2) 令和元年9月審査分の特別審査委員会取扱状況
 - (3) 令和元年8月理事会議事録の公表
 - 3 その他
公益代表監事の再公募

5 議事内容

(理事長)

ただいまから理事会を開催する。

議事録署名者として鳥海理事、吉田理事にお願いします。

本日の理事会は、被保険者代表の木暮理事、診療担当者代表の松本吉郎理事、遠藤理事が欠席である。

この結果、本理事会は、理事会の構成員である理事長及び理事の総数16名のうち、13名の出席を確認しているので、支払基金定款第21条第1項に規定されている定足数を満たしており、本理事会が成立することを申し添える。

初めに、その他「公益代表監事の再公募」についてご報告する。

本年7月理事会において再公募を実施すると申し上げていた前公益代表監事の後任について、9月9日に選考委員会が開催されたところである。

本日は、ご多用の中、役員選考委員会を代表して役員選考委員会委員長にご出席いただいております。事務局から選考の経過について説明した後、役員選考委員会委員長から選考結果等についてご報告いただきたいと思います。

-----事務局から選考の経過を説明-----

前回の役員選考委員会の開催状況等を説明した後、再公募に係る選考の経過について、8名から構成する役員選考委員会で、書類選考及び面接を実施し、面接に際しては「医療保険制度への知識、関心」、「監査業務への意欲、関心」、「監査実務に対する知見・能力」を評価項目として、各選考委員が「S」、「A」、「B」、「C」の4段階で総合評価を行った旨を説明。

(役員選考委員会委員長)

役員選考委員会において、先ほど事務局からご説明した3つの評価項目を踏まえ、厳正かつ公正に選考した結果、今般の応募者は支払基金の監事として適任ではないと判断したことを報告する。

(理事長)

役員選考委員会委員長から報告があったとおり、今回の公募においては、公益代表監事として適任者が得られなかったということであるが、この件について、質疑・意見等があればご発言下さい。

(質疑・意見等なし)

それでは、先ほどのご報告のとおり、公益代表監事として適任者が得られなかったことから、今後の対応について事務局からご説明する。

-----事務局から今後の対応について説明-----

2回にわたる公募でも応募者が3名と非常に少なく、結果として適任者が得られなかったことから、再々公募を実施したとしても適任者が得られる見込みが大変低いことが予想されること。

また、今年度の監事監査に支障を生じさせないためにも、速やかに後任の監事を選任する必要があること。

これらの理由から、今般の公益代表監事を選任について、理事会の理事の皆様のご了解を得た上で、支払基金の監事にふさわしい能力、経験及び知見を有する人材を支払基金で選定したい旨を提案。

(理事長)

ただいまの説明について、質疑・意見等があればご発言下さい。

(診療担当者代表理事)

支払基金で選定ということは、事務局でこの人が適当だという人を見つけて、口説きにいくというような意味合いなのか。

その際に、この選考委員会というのはどういう立場になるのか。選考委員会は通さないということか。

(事務局)

選考委員の皆様方は、公募を実施する時に、役員選考委員会において適任者の選考を行うことになっている。そういった意味では、公募しない時に役員選考委員会を開催するといったことは考えてはいないのだが、今まで2回公募させていただいた経過を踏まえて、支払基金で適任者を選定した後、各側選考委員の皆様に対して説明をさせていただき、意見を伺う機会を何かしら設けたいと考えている。

(診療担当者代表理事)

それは選考委員の方々に、きちんと意見はお伺いするということか。

(事務局)

そのとおりである。

(理事長)

今回は、こちらの方から適任者についてあたって選任をし、先ほど話があったように、選考委員の方々に確認をしていただくということである。

(診療担当者代表理事)

それは随分、不遜な言い方である。事務局が白羽の矢を立てたのだから、有無を言わずオーケーしろというようにも受け取れるが。

(理事長)

これまで2回公募をして、選考委員会で選考していただいたので、こちらからお願いしようとする方が適任かどうかについては、選考委員会でご確認いただくようにしたいと考えている。

(診療担当者代表理事)

つまり、事務局が選んだからノーチェックでということではないと理解したが、それでよろしいか。

(理事長)

そのとおりである。

他に、質疑・意見等があればご発言下さい。

(被保険者代表理事)

意見を聞く機会を作るということは、面接ではないということなのか。意見を言うにも、どんな人なのかは書面で履歴書などを出していただいた上で、各側が意見を言うということなのか。意見を言うための材料について、決まっている範囲で教えていただければと思う。

(事務局)

今のところ、履歴書と職務経歴書を提出していただくことを考えている。

また、面接についてであるが、お忙しい方々なので日程調整が大変難しいかと思っており、個別にご相談に行きたいと考えているところである。

(理事長)

他に、質疑・意見等があればご発言下さい。

(被保険者代表理事)

今後もしこういう事例が出た場合は、公募で適任者がいないというのが2回

続いたら、同じような形で対応される考えなのかをお聞かせいただければと思う。

(理事長)

ご指摘の点については、これを先例としてルール化するという事ではないので、その都度の状況によって、また、理事会にもこのようにお諮りした上で判断させていただくことにしたいと思っている。

他に、質疑・意見等があればご発言下さい。

(診療担当者代表監事)

監事として発言の許可をいただきたいと思う。常勤の監事がいないと、非常勤だけでは仕事にならない状態なので早く決めていただきたい。

特に、支部監査が現在行えていないので、早く対応していただく必要がある。突然、前任の方がお辞めになった時に、後任が全く決まっていない状況で辞められた。今後もしもこういってことが起こるかもしれない。また、公募するという話だったが、この仕事の適任者というか、業務内容からして、この業務をこなせる方はなかなか見つからないと感じていた。

今後、事務局で選任、選出をするということであれば、しかるべき方について、もちろん役員選考委員会があれば役員選考委員会の皆様のご了解をいただくということも必要かと思うし、我々もできれば事前に知らせていただいて、その上で職に就いていただくということが必要なのではないかと考える。

今回、一連の流れを見ていると、非常に不透明でよく分からないところが多かったような気がするので、是非とも善処していただきたい。これは要望である。

(理事長)

ご要望として承った。

ただ、公募を原則とした場合に、事前に特定の候補者に事務方があたるのは、なかなか難しい面もあろうかと思うが、ご指摘を踏まえて円滑に後任者が得られるように、今後、検討していきたいと思う。

他に、質疑・意見等があればご発言下さい。

(質疑・意見等なし)

それでは、公益代表監事について了解が得られたら、先ほど事務局から説明させていただいたとおり、適任者を事務局が選定の上、選考委員会の皆様に確認をしていただくという手続をとらせていただきたいと思います。

今申し上げたようなことでよろしいか。

(異議なし)

それでは、今後の公益代表監事の選考について了解が得られたので、支
払基金の監事にふさわしい能力、経験及び知見を有する人材を選定の上、
来月の理事会に監事候補者として提案するように準備を進めてまいりたい
と思う。

役員選考委員会委員長におかれてはご多用の中、選考委員会の審議、そ
して本日のご出席とご報告を賜り、お礼申し上げます。

ここで、役員選考委員会委員長には退室していただく。

(役員選考委員会委員長退室)

それでは、次に、報告事項の「第21次審査情報提供（医科）」について、
事務局から報告する。

-----事務局から資料説明-----

「第21次審査情報提供（医科）」について、新たに情報提供する医薬品
8事例及び診療行為2事例を説明。

(理事長)

本件について、質疑・意見等があればご発言下さい。

(質疑・意見等なし)

次に、定例報告(1)「令和元年7月審査分の審査状況」について、事務局か
ら報告する。

-----事務局から資料説明-----

令和元年7月審査分の審査状況を報告。

(理事長)

本件について、質疑・意見等があればご発言下さい。

(質疑・意見等なし)

次に、定例報告(2)「令和元年9月審査分の特別審査委員会取扱状況」について、事務局から報告する。

-----事務局から資料説明-----

令和元年9月審査分の特別審査委員会取扱状況について報告。

(理事長)

本件について、質疑・意見等があればご発言下さい。

(質疑・意見等なし)

次に、定例報告(3)「令和元年8月理事会議事録の公表」について報告する。

8月理事会議事録については、皆様方に議事内容を確認いただいた上で、議事録署名者である伊藤理事、中川理事にご署名いただいているので、速やかに支払基金ホームページに掲載することとする。

最後に、「令和元年台風15号による被災に関する診療報酬等の請求の取扱い」について、事務局から報告する。

-----事務局から説明-----

「令和元年台風15号による被災に関する診療報酬等の請求の取扱い」について、8月診療分が請求されなかった医療機関等への支払基金の対応状況を説明した後、8月診療分で被災に係る概算請求の届出がなかったことを報告。

(理事長)

本件について、質疑・意見等があればご発言下さい。

(保険者代表理事)

今までの経験からすると、大震災が起きた時にレセプトが津波で流されて残っていないというのが普通なのだが、今回は停電だから、レセプトは残っているということか。

(事務局)

残っていると思う。停電が復旧すれば、レセプトは作成できると考える。

実際には9月10日が受付の締めで、オンラインはASPの返還分も含めて12日までなのだが、9月10日までに請求がなかった医療機関等は、先ほど8

月診療分の請求がなかった医療機関等の数を45と申し上げたが、それ以外に135の医療機関等から請求されていないという状況であった。それら全ての医療機関等に電話で確認し、停電が復旧してデータが作れるようになった後、電子媒体等で提出された状況であった。したがって、残りの停電の影響で翌月回しにしているところについても、回復できるものと見込んでいる。

(保険者代表理事)

そうすると、概算請求はあるが正確なデータは残っているので、後でもう1回計算し直して請求額を修正するという事か。

(事務局)

概算請求はどこも出しておらず、8月診療分のデータを9月診療分と一緒に、2か月分請求する形となる。

(理事長)

結局、概算請求が行えるという事務連絡は出たが、実際には概算請求はなかったということかと思う。

(診療担当者代表理事)

今回はそれでよろしいかと思うが、停電だけでなく屋根が吹き飛ばされて、雨が入りパソコンが水没すると、電子カルテなどが使えなくなるということも想定できる。そうすると、データが復旧できない。津波で流された時と同じような状況になることも想定できると思うので、その対応を今後お願いしたい。

(理事長)

他に、質疑・意見等があればご発言下さい。

(質疑・意見等なし)

全体を通して、質疑・意見等があればご発言下さい。

(質疑・意見等なし)

それでは、本日の理事会を閉会する。次回の理事会は、10月28日(月)午後3時から、この場所で開催する。

令和元年9月30日

理 事 長 神 田 裕 二

保 險 者 代 表 理 事 鳥 海 孝 治

被 保 險 者 代 表 理 事 吉 田 直 浩